

火の用心通信 (2013年11月) No.25

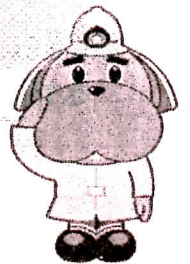
横浜市金沢消防署

「放火されない・放火させない環境づくり」をしましょう！

毎年秋から冬にかけて急激に火災の件数が増加してきます。その出火原因はいったい何でしょう。

横浜市では、昭和60年から平成24年までの28年間、「放火」による火災が火災原因のトップになっています。金沢区でも平成21年から平成24年の出火原因のトップは「放火」によるものです。

金沢区における放火火災状況



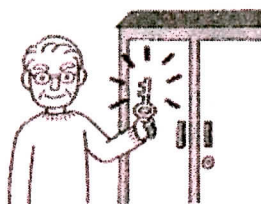
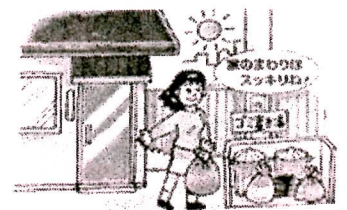
平成25年	2件(全38件中)	(10月31日現在)
平成24年	10件(全37件中)	
平成23年	17件(全55件中)	
平成22年	13件(全52件中)	
平成21年	21件(全74件中)	



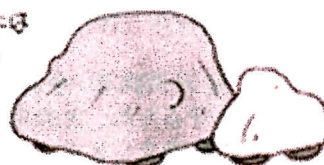
※件数には放火疑いも含まれます。 ○ 金沢区ではゴミ置き場への放火が多発しました。

●放火を防ぐには●

- ☆ 家の周りに燃えやすいものを置かないようにしましょう。
- ☆ ゴミは決められた日の朝決められた場所に出すようにしましょう。
- ☆ 家の周りに外灯を設置して、物置や車庫には鍵をかけるようにしましょう。
- ☆ 外出時にはお隣やご近所に一声かけて、地域ぐるみの放火防止対策を推進しましょう。
- ☆ 燃えやすい物などは整理整頓し、不要となった物は処分しましょう。
- ☆ 車の施錠を確実にして、窓は完全に閉めましょう。
また、駐車場所は常に明るくして、他の人が自由に出入りできないようにすると効果的です。
- ☆ ボディーカバーは「防災製品」を使うようにしましょう。



車やバイクには
防災製品の
ボディーカバー
を使う



地域ぐるみで
放火防止に
取り組みましょう



「放火されない・放火させない環境づくり」を推進するためには、地域の住民一人ひとりが積極的に放火火災に対する注意を行うことが大切です。さらに、自治会・町内会、商店街、事業所が地域ぐるみで連携し、消防・警察などの行政機関と一体となって放火防止に取り組むことが大切です！！

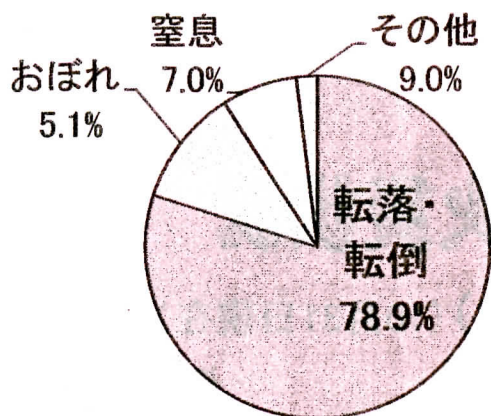
予防救急

家庭内の事故を予防しましょう

近年、救急隊による傷病者の搬送が増加しており、特に高齢者の搬送の割合が高くなっています。そのうちケガによるものは、他の原因に比べて増加率が高いことが分かりました。救急搬送事例を詳細に見ると、その危険性を知っていれば、防止できたのではないかとと思われる事例が多く見受けられます。

ケガ予防に対する意識を高め、年末年始を健やかに過ごしましょう!!

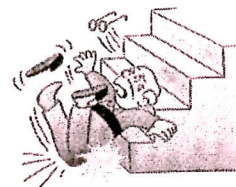
家庭内における救急事故種別の割合(平成24年中 金沢区内)



家庭内で発生する救急事故の原因では、「転倒」・「転落」が、約79%とほとんどを占めています。

◎対策

- 家庭内の段差を解消しましょう。
- 室内を整理整頓し、つまずきや転倒をなくしましょう。
- 歩きやすく滑りにくい履物や靴下を履きましょう。
- お酒の飲みすぎに注意しましょう。
- 日頃から体力管理に気をつけましょう。
- 階段、廊下、風呂場、トイレ等に手すりを設置しましょう。



金沢区 消防出初式

1月7日(火)
午前9時30～10時30分

式典・表彰
(会場 金沢公会堂)

泥亀公園が工事のため使用
できませんので、
式典・表彰のみ行います。

※消防演技・一斉放水は行いま
せん。

「窒息」にも要注意!

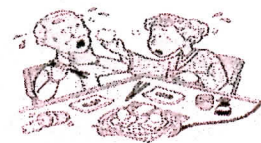
年末・年始の時期は、もちなどを食べる機会が多くなり、のどに詰まると重大な事故につながるため、「窒息」への警戒心を高める必要があります。

金沢区平成24年 窒息件数



18件(15件)

※()内は高齢者の件数



→いずれも重症または死亡
・平均年齢88歳

◎対策

- 水分をこまめに摂りましょう。
- 食べ物は小さく切り、よく噛んで、ゆっくり食べましょう。
- 口の体操やマッサージなどで口腔をケアしましょう。



年末・年始は消防特別警備を実施します!



金沢消防署・金沢消防団では、年末・年始に、区民の安全・安心を守るため、次の期間、消防車両等による広報・夜間巡回警戒などを強化します。

【実施期間】12月20日(金)～1月4日(土)

金沢消防署のホームページで「かわら版」「火の用心通信」を見ることができます。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shobo/18syosyo/kanazawa/kanazawa-inf.html>

